

# 作井 繁樹 議員 … 4 件の一般質問

## 投雪口「跳ね上げ式蓋」スピード感を持って交換を

町長：要望も高く、積極的な取り組みをしていきたい



**作井** 流雪溝の昨シーズンの使用中止日数は。

**町長** 国道5号線で10日、国道276号線は4日、駅前通りは5日、メルヘン通りは停止ゼロ。

**作井** 投雪口の跳ね上げ式の蓋への交換状況は。

**町長** 国道5号線の交換率は5割程度、国道276号線は2割5分程度、駅前通りは全て交換、メルヘン通りは今年度で全て交換。来年度以降、都市下水路路線の交換を順次していきたい。

**作井** 流雪溝の流れをスムーズにするためには尻別川の本格整備が必要、その前提である尻別川圏域河川整備計画の策定進捗状況は。

**町長** 本年度中には計画(案)が作成され、国へ許可申請を行う予定。

**作井** 同様に流雪溝の流れをスムーズにするための排水口の形状改修、国道5号線東側の流末を直線的に尻別川に排

水する要請の進捗状況は。

**町長** 平成26年11月に流雪溝管理運営協議会から国・道・町に対して要望、町も開発局へ要望。今後は、流雪溝の再整備について、開発局及び北海道と協議する。

**作井** 跳ね上げ式蓋、スピード感をもって交換を。

**町長** 要望も非常に高い、少しスピードを持って積極的な取り組みをしていきたい。

### 町道の除排雪

**作井** 新雪出動10cmなど、出動基準等のチェック体制と履行状況は。

**町長** 受託者がパトローラーを行い、町もパトローラー、作業日報等をチェック。履行状況はおおむね満たしている。

**作井** 除雪に関する関係例規が混在、簡素化するべき。また、実態との乖離を解消すべき。

**町長** 出動基準、作業基準は、統一されている。一時的には基準を満たさない場合もあるが、基準に沿って対応している。

**作井** 路面整正における路面圧雪厚、数値基準を明文化すべき。

**町長** 除排雪共通仕様書に基づき10cm以下、町担当員と受託者との情報共有を密にして対処する。

**作井** 新雪出動10cm、圧雪厚10cm以内が本町の除排雪が高レベルである根幹、チェック体制を緩めずに維持することが大切。

**町長** 一定の基準があるからこそ指導ができ、基準がなければ適当になる、この基準に沿って除排雪をしていく。

### 間口雪処理

**作井** 福祉除雪として間口雪処理を行っている先進地事例の認識は。

**町長** 地域の状況に応じた創意工夫を行っているが、本当の間口除雪は3自治体ぐらい。

**作井** まずは高齢者・身体障がい者などへの福祉除雪として、ニーズ調査を行い、来年度から試行すべき。

**町長** 総合的な福祉除雪の充実に向けて模索、研究したい。

**作井** 全路線間口雪処理はまだ先の課題でも、福祉除雪としての間口雪処理は待ったなし、即取り組むべき課題。

**町長** 間口除雪は永遠の課題、十分検討し、いい形で一部からでも取り組みたい。

### 総合戦略の活用

**作井** 流雪溝の再整備、総合戦略に盛り込み、可能性を模索すべき。

**町長** 再整備は大変困難、関係機関と連携して検討したい。

**作井** 全路線間口雪処理も総合戦略に盛り込み、具体的に研究すべき。

**町長** 現時点では、相当困難、今後も情報収集しながら取り組める。

**作井** 町内の国道・道道・町道を一括除排雪する特区も総合戦略に盛り込み、具体的に研究すべき。

**町長** 現状では厳しい、開発局及び北海道において実施することが最善。いずれにしても雪の諸課題は、検討のひとつ。

**作井** 総合戦略交付金を研究費に活用すべき。いずれにしても雪対策は重要なキーワード。

**町長** いろいろな中から研究費を引き出して、少しずつ調査を進めることは可能だと思う。